

令和5年多治見市長選挙 立候補者アンケート

高木 貴行 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、多治見市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

NPO や市民活動は、団体福祉、子育て、環境、まちづくりなどの分野では、最早「なくてはならない」存在になっていると感じています。市民一人一人にとっても身近な存在になったのではないのでしょうか。

いっぽうで、NPO を立ち上げた人たちは、それぞれ強い思いを持った方が多く、行政や他の団体と考え方が一致しないことがあることも事実です。

私が期待したいのは、この考え方の違いを一致させることではなく、「違いを認め合える関係」を築いていくことです。対等な立場で長くお付き合いさせていただきたいと考えています。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

多治見市では、「多治見市まちづくり活動補助金」などを設けてNPO等の活動推進施策を行っています。NPO等の活動をより推進していくために、活動費の補助やその他に活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

NPO をはじめとする市民活動団体では、スタート時点での資金調達やネットワークの構築に苦勞することが多いのではないのでしょうか。その意味で、多治見市が実施している「まちづくり活動補助金」は大切にしていけるべき施策です。補助金の交付だけでなく、補助金採択に向けた審査会や活動報告会が開催されており、ネットワークの構築にも有意義だと考えます。

私自身、市長選の公約に「公民連携」「起業支援」を掲げています。当選させていただければ、市の事業を総点検していく中で、「まちづくり活動補助金」や起業支援策のニーズを洗い出し、できるかぎり予算化に努めたいと考えています。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「第7次多治見市総合計画 後期計画 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり 施策②市民活動支援」では、市民活動組織と他団体との連携支援について書かれています。今後も多治見市のまちづくりのために、多治見市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

市施設の一部では、すでにその管理を市民団体に任せているものがあります。土岐川観察館が代表例で、自然保護活動団体が運営を担っています。こうした協力関係を拡大していきたいと考えています。

ただし、課題もあります。公共施設の管理運営は貴重な税金が投入されるわけですから、一定の経済性も勘案しなければなりません。NPO、市民団体に対して、合理的かつ透明性の高い施設運営が求められます。

私の考えるNPOとの協働関係とは、単に仕事を多く割り振ることではなく、行政とNPOが、経済性や合理性も含めて意見交換し、お互いに高めあっていける関係を構築していくことだと考えています。

ご協力ありがとうございました。